

種名	<p style="text-align: center;"><u>トウネン</u></p> <p style="text-align: center;"><u>Calidris ruficollis</u></p> 													
分類	チドリ目 シギ科													
特徴	夏羽では顔から胸が朱色に染まる、くちばしの短い小形のシギ類。シベリア北東部とアラスカの一部の寒帯で繁殖し、日本には旅鳥として春秋に数多く渡来する。													
生活	日本では主として4～5月と8～11月頃に数十羽から時には数百羽の群れが干潟で見られることが多い。頭を下げてせわしなく歩き回りながら、泥の表面や水溜まりの水面をついばんで餌をとる。餌は小形の甲殻類などの動物質のものである。繁殖期にはツンドラ地帯に棲息し、地上に巣を作って普通4卵を産む。繁殖生態については十分調べられていないが、昆虫類を主な餌とし、草の実も食べるようである。													
声	地上に下りている時は「チリリ、チリリリ」とか「チュイチュイ」といった細い声で鳴く。また飛びながら「チッチッ」という細い声を出すこともある。													
見分け方	もっとも小形のシギ類の一つで、くちばしは黒くやや太めで、脚は黒い。夏羽では頭部が赤褐色になり、背にも赤褐色が混ざる。冬羽や幼鳥では、背面は灰褐色になる。													
時期	(月)	-	-	3	4	5	-	7	8	9	10	11	-	
その他	全長(L)15cm 翼開長(W)29cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														